

埼玉県議会議員

かとう すえかつ

平成25(2013) 秋号

加藤 末勝 県政報告

県政へ! 市政の太い架け橋に

〒356-0004 ふじみ野市上福岡2-2-5
TEL・FAX:049-261-2829

発行 埼玉県議会自由民主党議員団

県議会9月定例会

緊急防災・減災事業に**19億2,955.6万円**計上

新県立がんセンター(病床503床へ)

103床増へ条例を改正

県議会9月定例会は9月20日から10月11日まで、22日間の会期で開催され、補正予算一般会計63億7,767万円などを議決し閉会しました。

今回の補正予算では、すでに進行中の緊急防災・減災事業(橋りょうの耐震補強や県営公園の防災機能強化など)をさらに推し進めるために約19億2,955万円を計上。また、ハッ場ダムの工期を平成31年度まで4年間延長する国の変更計画について、県民の安心・安全を1日でも早く実現させるため、民主党政権下での遅れを全力で取り戻すことを前提に、同意することとしました。

その他、5件の意見書と「歴史教科書の再審査を求める決議」など2件の決議、1件の請願を採択しています。



今年12月のオープンに向け整備が進む新県立がんセンター。写真は8月現在の様子。

意見書

- * 竜巻への対策強化を求める意見書
- * 給油所の過疎地問題の解消に関する意見書
- * 青少年を有害情報から守るため、青少年インターネット環境整備法の見直しを求める意見書
- * 子ども・子育て支援の推進を求める意見書
- * ハッ場ダムの一日も早い完成を求める意見書

決議

- * 高校日本史教科書採択の再審査を求める決議
- * 新たな森建設についての執行停止を求める決議

請願

- * 県民の健康を守り、ドナーの骨髄提供しやすい社会環境づくりを図る「骨髄バンク・ドナー助成制度」創設を求める請願書

9月補正予算(一般会計)

63億7,767万円

～補正後累計 1兆6,854億5,610万千円～

大規模災害に対する備えの強化

緊急防災・減災事業 19億2,955万6千円

耐震対策の推進

橋りょうの耐震補強



緊急輸送道路の橋りょう耐震補強を前倒し【9橋で進捗を前倒し】

体育館の天井材落下防止



避難所指定の県立学校体育館に天井材落下防止ネットを設置【完了数 0校→57校】

災害対応力の強化

災害対応力の強化



県営公園に防災関連施設を整備【整備済数 1公園→7公園】

新 震災時の応急給水拠点の拡充 《水道用水供給事業会計》

6,066万5千円

- 地震に強い県営水道管の空気弁を活用し、応急給水拠点を整備(各市町の避難所近くに300カ所整備。平成25年度100カ所、平成26年度200カ所)
- 現在:13カ所(浄水場、中継ポンプ場等)→整備後:313カ所
- 県・市町の水道職員OBと水道工事業者で応急給水サポート体制を構築



竜巻被害で自民党県議団が緊急行動

9月2日に発生した竜巻によって、越谷市、松伏町で大きな被害が発生しました。自民党県議団は翌日の3日、県に対し被害対策に関する緊急要望を行いました。さらに12日には被災地を視察し、被災者生活再建支援法の弾力的運用を要請することを含めた、被災者支援を求める要望書を県に提出しました。

また16日未明に熊谷市や行田市、滑川町で発生した竜巻被害を受け、自民党県議団は20日、県による復興支援や観測体制の強化などを要望しました。



復興支援を重ねて県に要望

活動報告



6/2 東入間剣道大会が三芳町総合体育館で開催されました。300名あまりの剣士の戦いを見て、「心・技・体」の必要性を改めて感じました。

6/9 早朝から地元上福岡二丁目の「防災訓練」に参加しました。「煙体験」や「消火器の訓練」「バケツリレー」などの訓練を行いました。

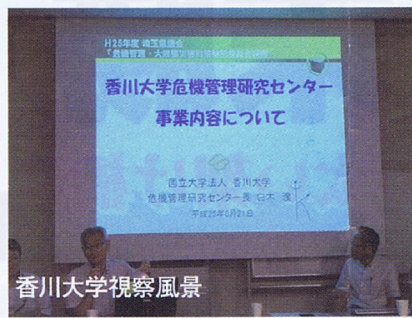


7/28 おおい祭りに参加しました。当日は暑く更には夕方には「ゲリラ豪雨」と、このところの異常気象には様々なイベントが中止になっています。

8/11 ふじみ野市大井総合支所新築記念式典に参加させて頂きました。旧大井町役場は耐震の強度が弱く地震が来たら危険と診断され、その後、消防署の建設と共に大井総合支所も併せて改築されました。



委員会視察報告「危機管理・大規模災害対策特別委員会」



香川大学視察風景

当委員会では、8/20-22、兵庫県庁において、阪神・淡路大震災の教訓を活かした「フェニックス防災システム」を研修して参りました。このシステムは、国の補助を受け、災害情報や気象観測を収集・提供・被害予測のガイダンス機能をもち、迅速的確に初動・応急対応を支援する「災害時統合行政支援システム」です。

つぎに、「徳島県防災人材センター」で、大災害に備えるには、県民の防災意識の醸成や応急対策・災害対応能力向上を図ることが重要な課題であることから、同施設を見学し、防災のための対策と人材育成について研修して参りました。香川県庁では、本年3月に「香川県地震・津波被害想定（第一次公表）」として、震度分布、津波浸水等の推計結果を公表しました。こうした先進の公表事例を今回、視察して、埼玉県被害想定に参考と致しました。つぎに、香川大学危機管理研究センターでは、「危機管理体制の強化」に関する視察を行いました。同センターでは、平成20年創設以来、同県における防災対策、危機管理等に関する教育・研究を行っています。東日本大震災の発生により、震災対策の重要性が再認識されるとともに、広域災害への対応が必要となっています。このため、危機事案や大規模災害発生時における「危機管理体制」の強化が不可欠であり、同施設を見学し、コンピュータによるシミュレーションを通じて、実際に災害時に何を成すべきかなどを視察・研修をして参りました。



視察風景



平成25年度

「東武東上線利便性向上促進議員連盟」要望提出

9/17 県議会の東武東上線利便性向上促進連盟では、東武鉄道鉄道事業本部にお伺いして、既に要望を出してあります要望の回答をお聞きしました。別紙7項目からなる要望に対して、東武鉄道から頂きました回答には不満が残りましたので、再度、各議員から熱心に要望が出されました。私は上福岡駅東側県道の「開かずの踏切対策」を解決するには連続立体交差化が不可欠であり、積極的に推進してほしい、また、遮断機の操作時間の短縮も併せてお願いしました。ピーク時には1時間に39分も閉まってしまいます。「ふじみ野市民の悲願である開かずの踏切対策」が出来ないのなら、せめて、遮断機の操作時間短縮も、安全を考慮した上で実施してほしいとお願いしました。連続立体交差化による回答。=有効な手段です。自治体の都市計画に従って進めていきたいとのこと。



信号機の設置要望について

「設置が決定しました。」

平成25年度、埼玉県公安委員会の7/3委員会会議に於いて、ふじみ野市から要望があった2箇所について設置が決定しました（設置は25年度中に完成します）。

1. ふじみ野市霞ヶ丘5-1地内（西中央公園）
2. ふじみ野市上野台1-1-1地内（上野台保育所）



現在、取組中の政策について

自民党県議団では、「商店街振興施策」としての条例の制定に向けて、調査、研究を実施しています。7/24-26、自民党県議一期生で組織する「新彩会」の視察研修に参加して参りました。福岡市内「上川端商店街振興組合」は大型商業施設との共存の取組について、以前は大型店が出店する計画が持ち上がると、商工会等を中心として出店反対などの行動を起こして参りましたが、時代の変化と共に共存することから活性化することを知りました。また、過日の議員研修会では「観光振興と地域活性化」をテーマに勉強をさせていただきました。今後の高齢化社会において「商店街の重要性」を改めて感じました。



2020年 東京オリンピック パラリンピック競技大会

☆埼玉県では、3競技（開催予定）

- ◇サッカー（埼玉スタジアム）8試合
- ◇ゴルフ（霞ヶ関C.C）8日間
- ◇射撃（朝霞自衛隊訓練場）9日間

※経済波及効果：
約3兆円（予測）
雇用誘致数：15万人



TOKYO 2020
APPLICANT CITY